

2002年第43週報告分

- 発生動向総覧 / 調査票通信
- 全数届出患者数一覧表
- 定点報告疾病集計表
- 疾病別グラフ(四類定点週報告分)
- 病原体検出情報(表・グラフ)
— 腸管出血性大腸菌感染症 —
- 年齢階級別累計表
- 保健所別累計表
- 保健所別定点当たり累計表

感染症豆知識

- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

東京都医師会感染症予防検討委員会

事務局:東京都立衛生研究所疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: www.tokyo-eiken.go.jp/IDSC/



（全数情報）

- ・細菌性赤痢が4件報告された。ボイド4型菌1件（推定感染地：イラク）、ソネ菌3件（推定感染地：アメリカ、インド、国内）である。国内例は38歳男性で、最近渡航歴はなく、感染原因は不明である。
- ・パラチフスが1件報告された。推定感染地はバングラディッシュである。
- ・腸管出血性大腸菌感染症が4件報告された。すべてO157（VT2産生株2件、VT1+VT2産生株2件）である。そのうち入院は1件で、HUSの報告はなかった。
- ・アメーバ赤痢が2件報告された。推定感染地は国内1件、バングラディッシュ1件で、経口感染が推定されている。
- ・急性ウイルス性肝炎が2件報告された。A型1件（経口感染）、B型1件（異性間性的接触）で、推定感染地は国内1件、バリ島1件である。
- ・HIV感染症が15件報告された。AIDS5件、無症候性キャリア9件、その他1件で、推定感染経路は異性間性的接触3件、同性間性的接触11件、不明1件である。
- ・ジアルジア症が1件報告された。感染地、感染原因とも不明である。
- ・梅毒が1件報告された。無症候梅毒で、同性間性的接触による感染が推定されている。
- ・マラリアが1件報告された。卵形マラリアと熱帯熱マラリアの両方が検出されている。推定感染地はギニアである。
- ・レジオネラ症が3件報告された。推定感染地は国内で感染原因は不明である。

-
- ・42週で届出のあったバンコマイシン耐性腸球菌感染症患者は92歳女性である。

（推定される感染地は医師の届出によるものです）

（定点情報）

- ・感染性胃腸炎、水痘が増加している。

（病原体情報）

- ・肝炎1名のふん便よりエコーウイルス22型が分離された。
- ・上気道炎2名の咽頭拭い液よりコクサッキーウイルスB群2型が分離された。
- ・胃腸炎1名のふん便よりアデノウイルス1型が分離された。
- ・下気道炎1名の咽頭拭い液よりアデノウイルス2型が分離された。
- ・胃腸炎患者1名のふん便よりNLV(SRSV)が分離された。
- ・定点から搬入された頸管拭い液9検体中7件からパピローマウイルスの遺伝子が検出された。
- ・菌株で搬入されたMRSA3株のコアグラマーゼ型は 型が1株、 型が2株であった。
- ・クラミジア・トラコマチス特異抗体が54件検体中21件、クラミジア・トラコマチス遺伝子が11検体中2件から検出された。

(その他の情報)

平成14年11月1日よりウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む。)が全数届け出の四類感染症となった。従って医師はウエストナイル熱患者を診断したときは都道府県知事に届け出なければならない。

調査票通信

定点医療機関からのコメントを掲載

今週は定点医療機関からのコメントはありません。

全数届出患者数一覧表 2002年43週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		40週	41週	42週	43週	年累計	43週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クミア・コンゴ出血熱							
	ペスト							
	マ・ルブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	コレラ					14	3	47
	細菌性赤痢	3	2	2	4	91	8	597
	腸チフス			1		22	1	56
	パラチフス				1	11	1	29
	急性灰白髄炎							
	ジフテリア							
三類	腸管出血性大腸菌感染症	6	3	1	4	173	41	2939
四類 (全数届出)	アメ-バ赤痢	5	2	1	2	106	8	383
	エキノкокクス症							8
	黄熱							
	オウム病					3		51
	回帰熱							
	ウイルス性肝炎(急性肝炎)		5	2	2	147	12	813
	Q熱					28		36
	狂犬病							
	クリプトスポリジウム症					4		107
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1				8	1	105
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					9		74
	後天性免疫不全症候群	6	8	5	15	319	10	762
	コクシジオイデス症							3
	ジアルジア症		1		1	43	1	98
	腎症候性出血熱							
	髄膜炎菌性髄膜炎					1		5
	先天性風疹症候群							
	炭疽							
	ツツガムシ病					6	3	134
	デング熱					14		46
	日本紅斑熱							28
	日本脳炎							6
	乳児ボツリヌス症							
	梅毒	3	1	1	1	52	10	476
	破傷風					6		85
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1		7		35
	ハンタウイルス肺症候群							
Bウイルス病								
ブルセラ症					1		1	
発疹チフス								
マラリア	3		1	1	26	1	69	
ライム病					2		14	
レジオネラ症	1	1		3	18	2	146	

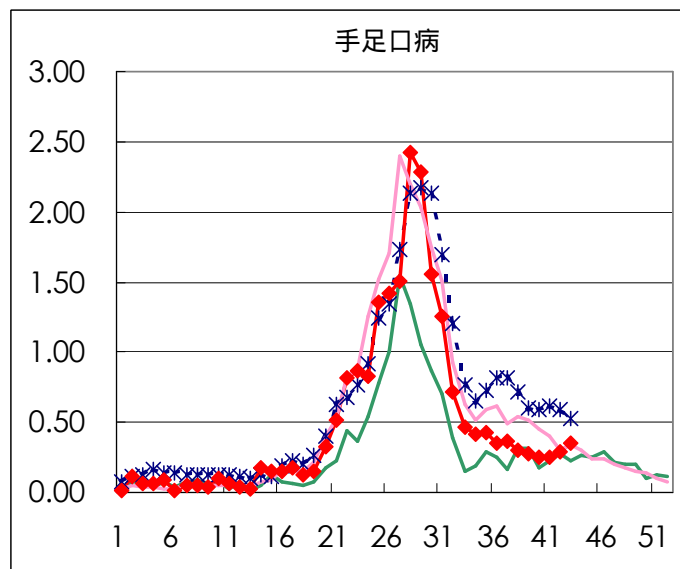
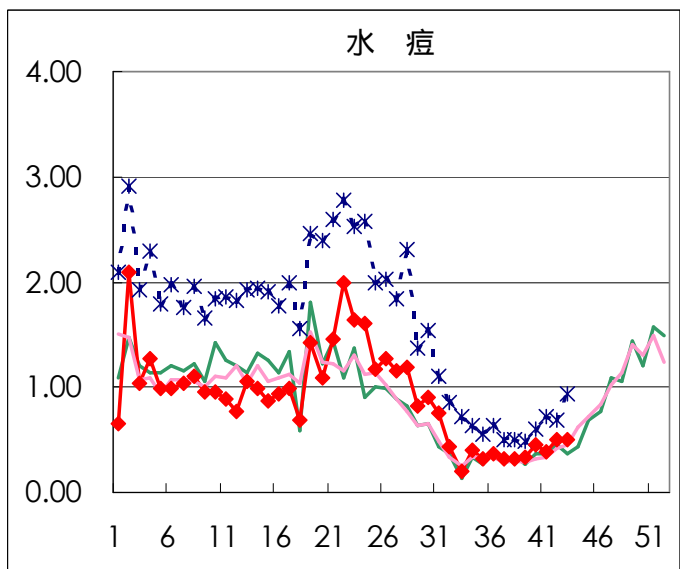
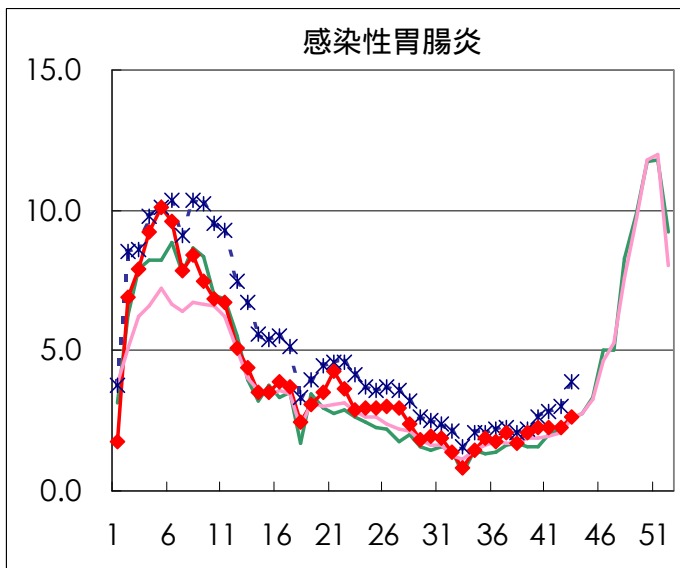
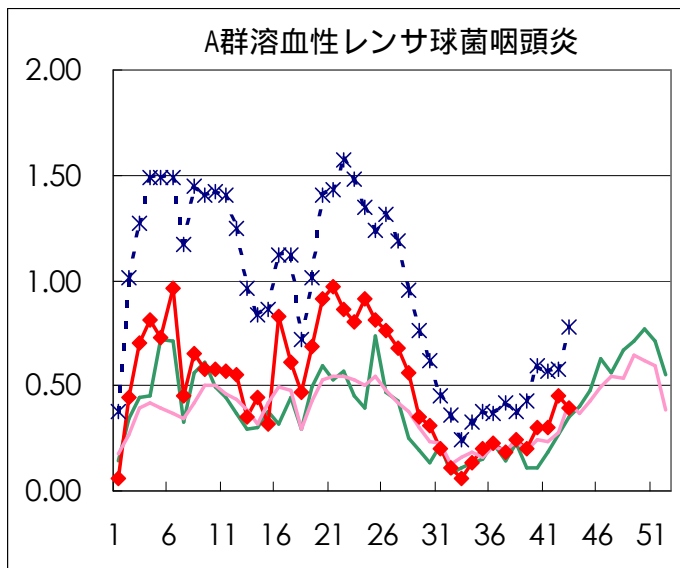
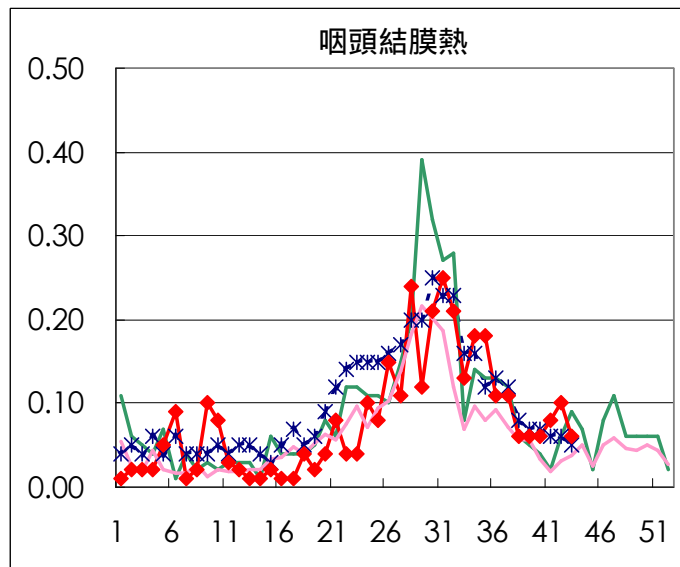
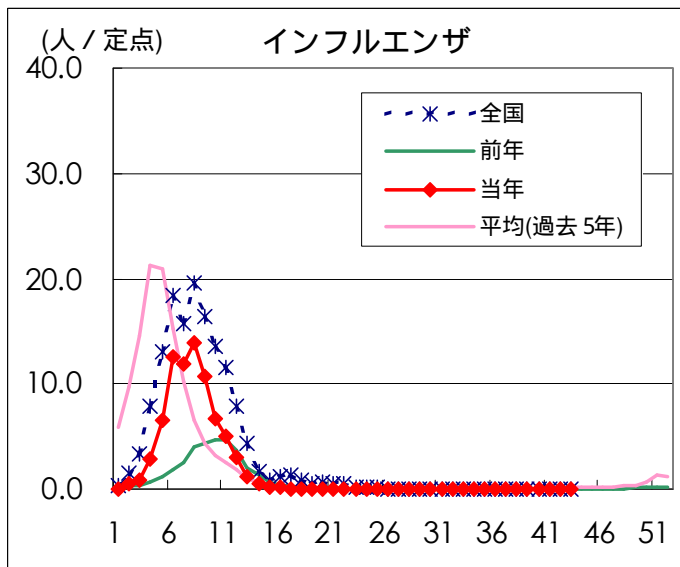
医師からの追加届出により増加することがあります(2002/10/31集計)。

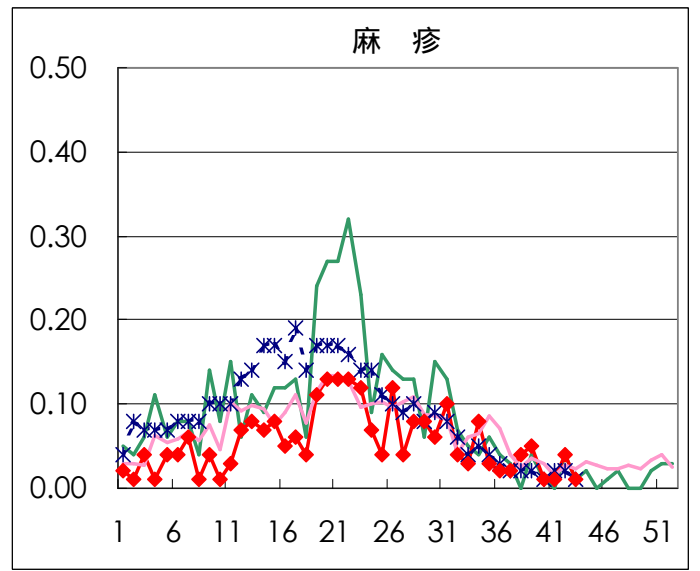
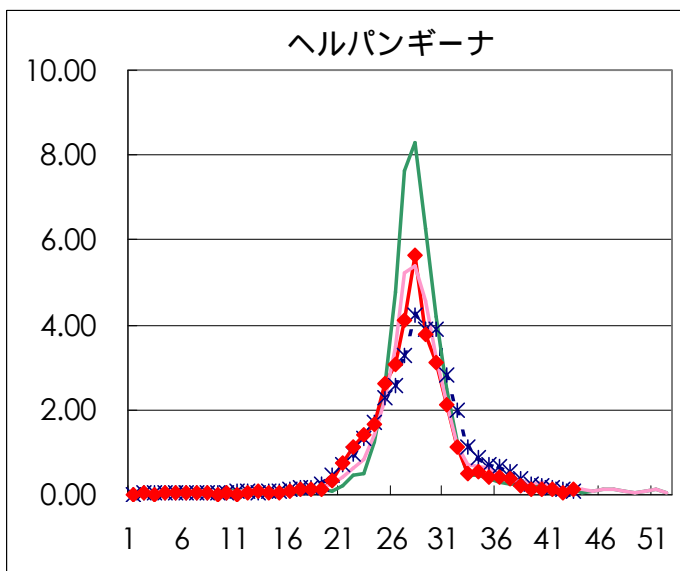
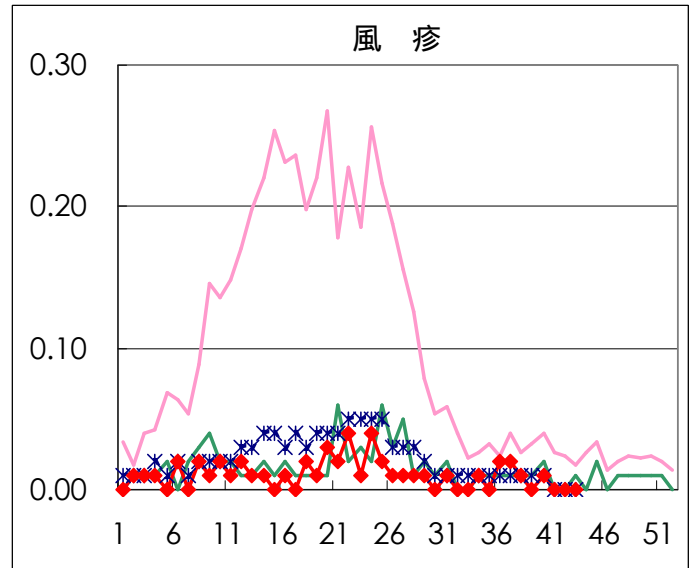
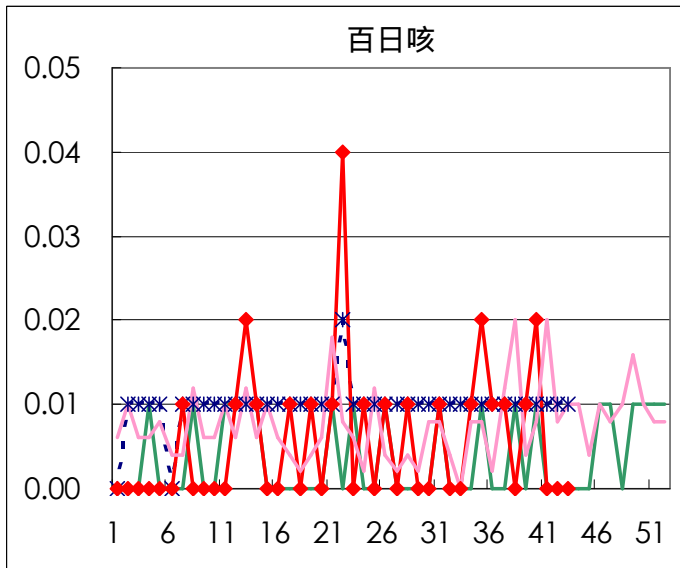
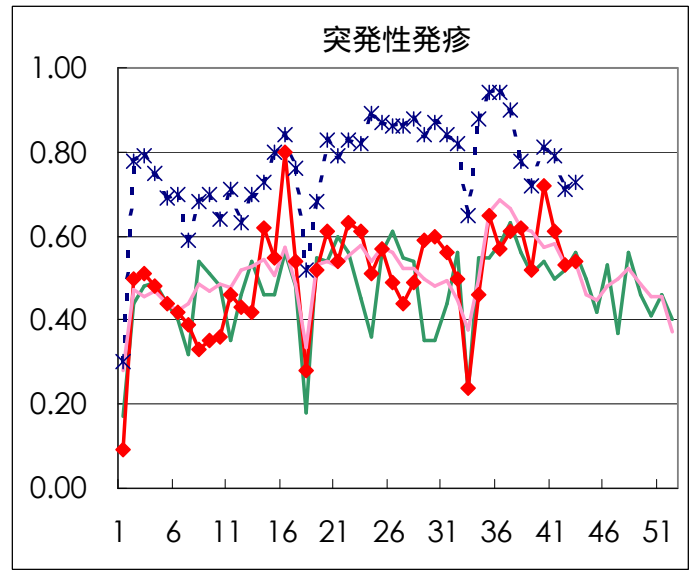
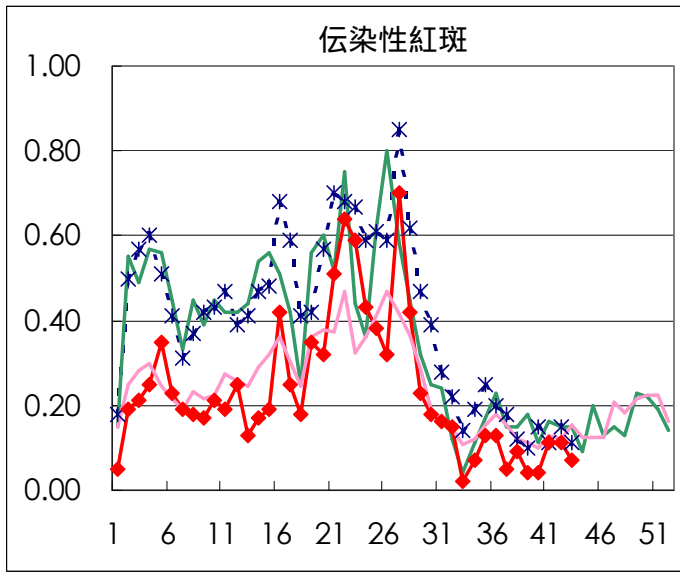
定点報告疾病集計表（男女別）

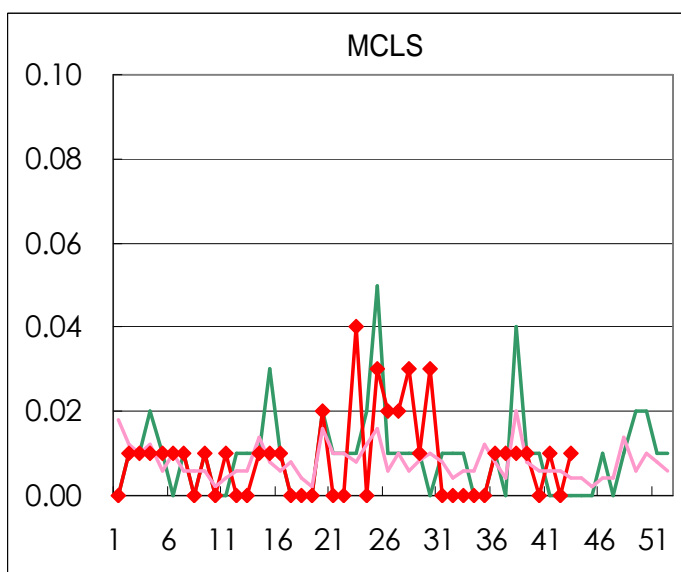
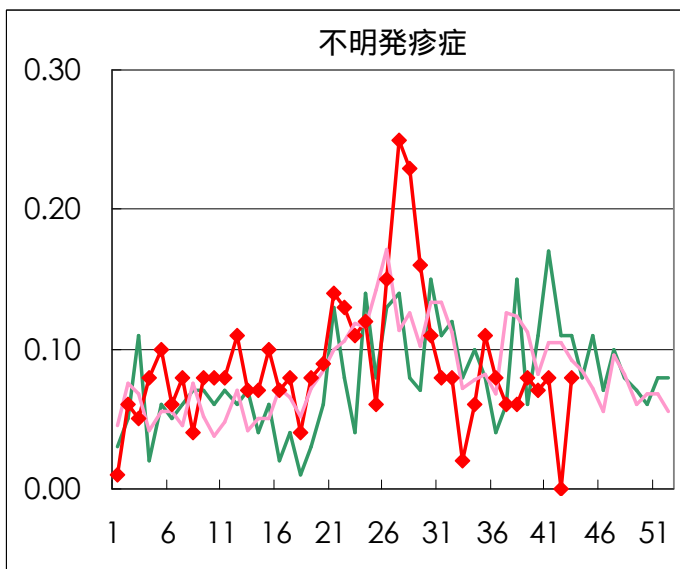
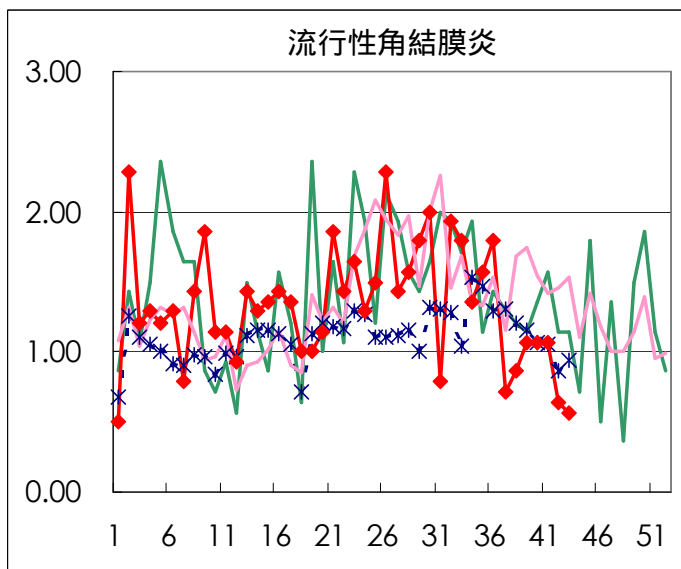
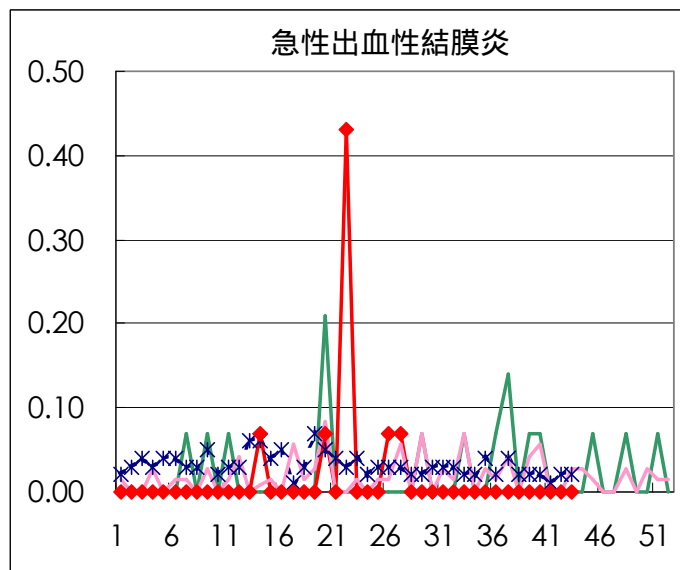
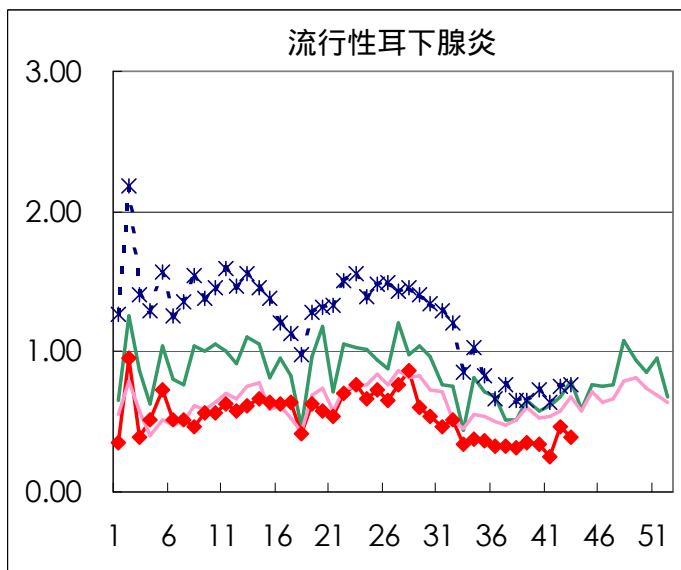
疾病名	性	2002年 週				累計
		40	41	42	43	
インフルエンザ	男					
	女				1	1
咽頭結膜熱	男	7	6	9	5	27
	女	1	6	5	4	16
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	18	26	37	28	109
	女	24	16	27	27	94
感染性胃腸炎	男	173	182	168	196	719
	女	150	137	154	181	622
水痘	男	32	27	47	37	143
	女	32	29	24	36	121
手足口病	男	20	23	20	32	95
	女	15	12	21	18	66
伝染性紅斑	男	2	4	9	1	16
	女	3	11	7	9	30
突発性発疹	男	44	49	33	33	159
	女	58	38	42	43	181
百日咳	男	2				2
	女	1				1
風疹	男	1				1
	女					
ヘルパンギーナ	男	11	4	2	14	31
	女	7	12	7	5	31
麻疹(成人以外)	男		1		1	2
	女	1		5		6
流行性耳下腺炎	男	23	20	37	27	107
	女	25	15	29	29	98
不明発疹症	男	4	3		4	11
	女	6	8		7	21
M C L S	男		1			1
	女		1		2	3
急性出血性結膜炎	男					
	女					
流行性角結膜炎	男	11	10	6	5	32
	女	4	5	3	3	15
急性脳炎（日本脳炎を除く）	男					
	女					
細菌性髄膜炎	男					
	女			1		1
無菌性髄膜炎	男	2				2
	女	1			1	2
マイコプラズマ肺炎	男	1	3	8	2	14
	女	2	2	4	5	13
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	男					
	女	1			2	3
成人麻疹	男		1		1	2
	女		1		1	2

「累計」欄は、当週を含む過去4週分の合計を示したものです。空欄は、報告がなかったことを示しています。

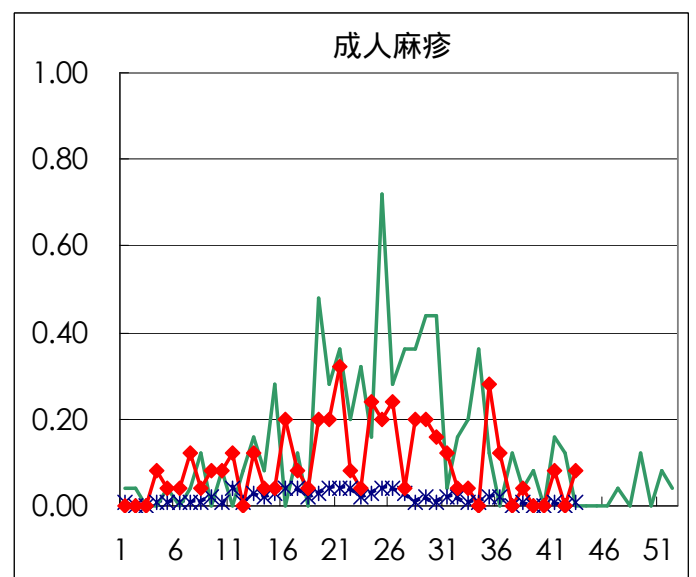
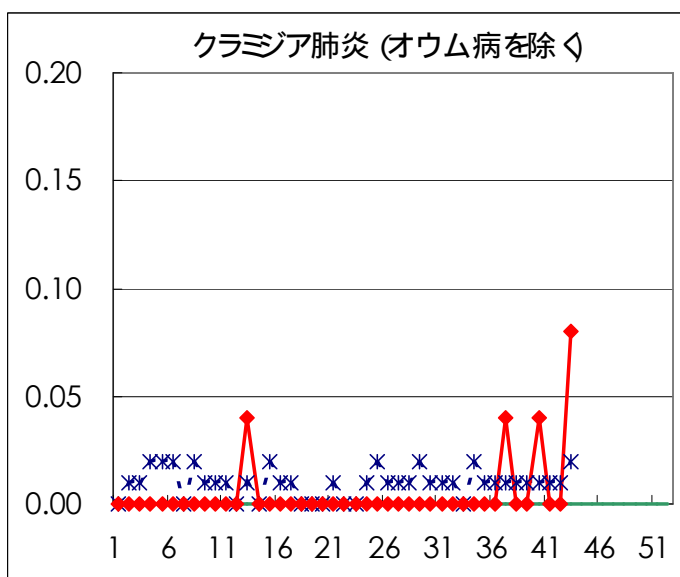
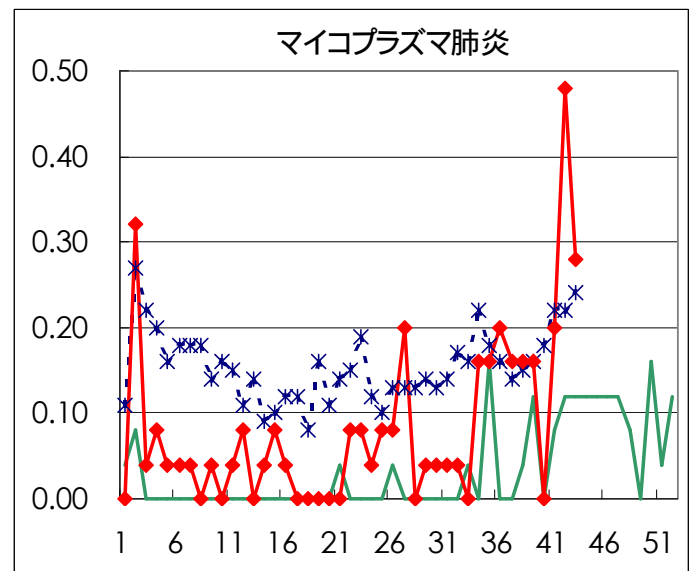
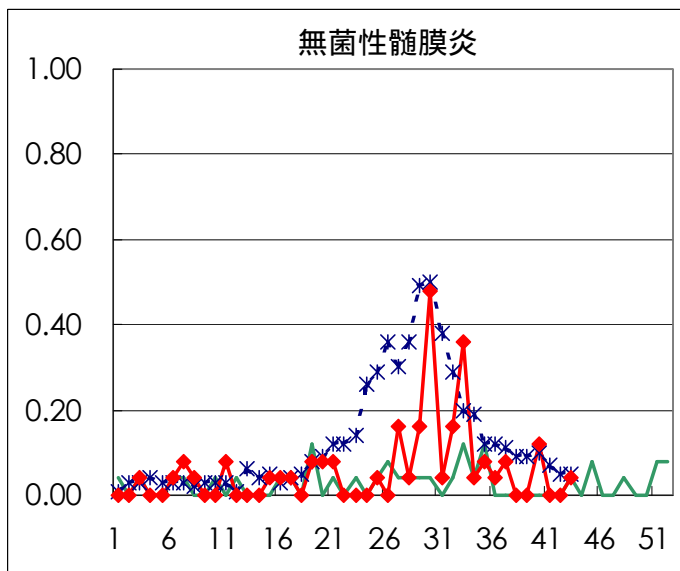
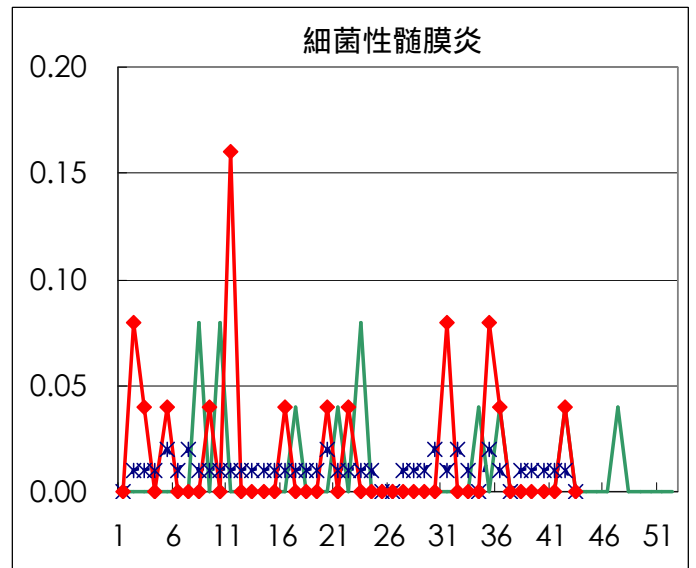
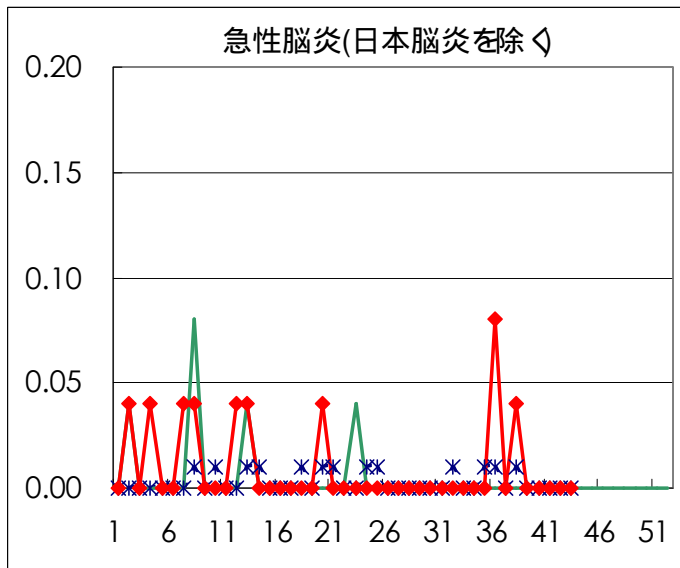
疾病別グラフ (四類定点週報告分)







疾病別の定点医療機関数	
疾病	医療機関数
インフルエンザ	178
急性出血性結膜炎	14
流行性角結膜炎	
急性脳炎	25
細菌性髄膜炎	
無菌性髄膜炎	
マイコプラズマ肺炎	
クラミジア肺炎	
成人麻疹	142
上記を除く疾病	



病原体検出情報

週別病原体 抗体検出結果 (2002年 36~ 43週)

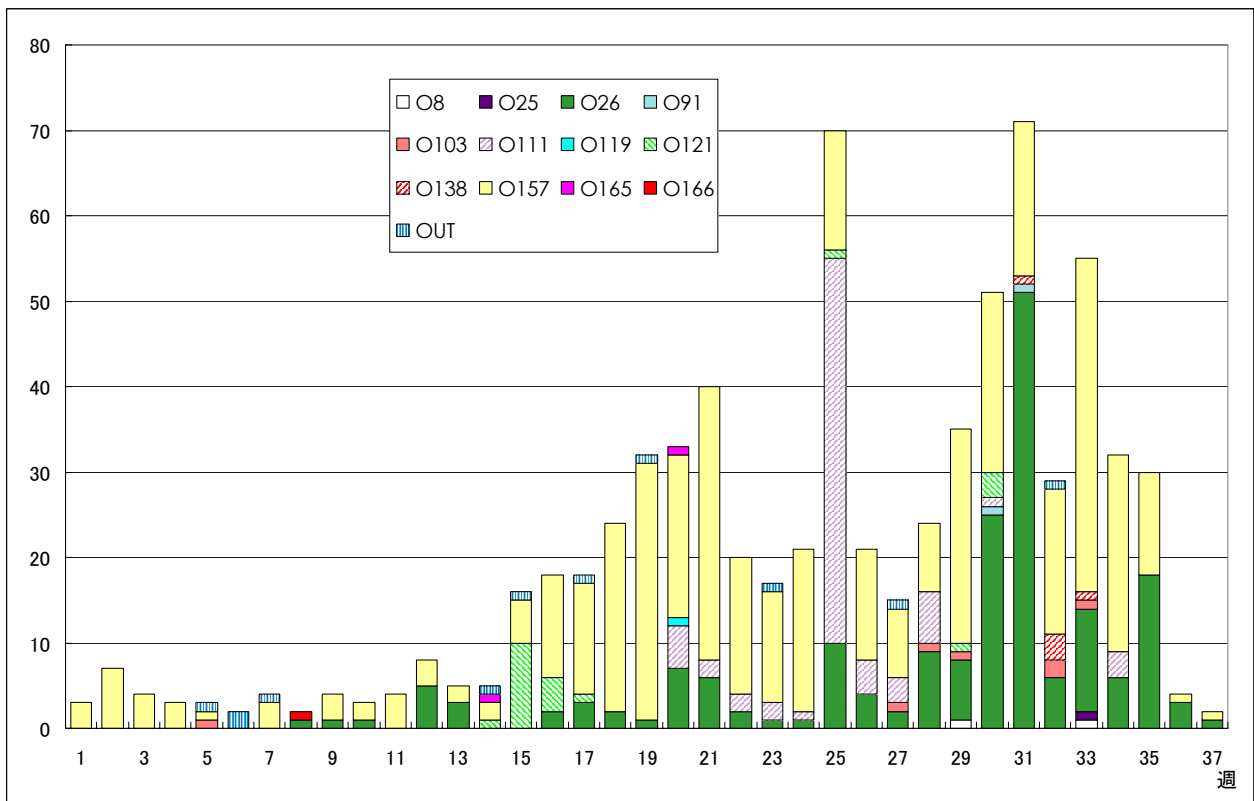
検出病原体 抗体		検体採取週								合計	
		2002年									
		36	37	38	39	40	41	42	43		
ウイルス	インフルエンザAソ連型										
	インフルエンザA香港型										
	インフルエンザB型										
	RSV		1		1					4	6
	アデノ	5	5	2	2	4	1	6	2	27	
	エンテロ	9	6	4	2	5	7	3	3	39	
	SRSV=NLV		1			1	26		1	29	
	ロタ			1			1			2	
	単純ヘルペス	1					1	1		3	
	水痘 帯状疱疹				1		1			2	
	EBV		1							1	
	CMV				1					1	
	HHV6/7		4		1					5	
	ムンプス	1	1							2	
	麻疹		1		1					2	
	パルボB19										
	分離型別	ポリオ1									
		ポリオ2									
		アデノ1					2			2	
		アデノ2							1	1	
		アデノ3	1	2	1		1			5	
		エコー13	1	3						4	
		コクサッキー-A6									
	抗体	デング		1						1	
		ツツガムシ									
	電顕										
	細菌	カンピロバクター	1								1
サルモネラ											
下痢原性大腸菌											
エロモナス			1							1	
O157											
MRSAコアグララーゼ 型		1		6	1	1	3		1	13	
MRSAコアグララーゼ 型		3	3	5	4	5	2	3	2	27	
MRSAコアグララーゼ 型											
MSSAコアグララーゼ 型			1							1	
溶連菌 T-1型											
溶連菌 T-3型								1		1	
溶連菌 T-4型											
溶連菌 T-6型											
溶連菌 T-12型								1		1	
溶連菌 T-22型											
溶連菌 T-25型											
溶連菌 T-28型											
溶連菌 UT											
性感染症	梅毒	2	1		2		4	1		10	
	クラミジア抗体	22	31	20	16	15	28	11	20	163	
	クラミジア遺伝子	1		2			2		2	7	
	淋菌遺伝子	1								1	
	パピローマ	3	3	1	1	4		4	7	23	

臨床診断名別病原体検出結果 (2002年 36~ 43週)

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ (脳炎を 含む)	上気道炎	下気道炎	咽頭結膜熱	A群溶血性 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	脳炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	発疹症	流行性耳下腺炎	口内炎	水痘	その他	合計
インフルエンザAソ連型																	
インフルエンザA香港型																	
インフルエンザB型																	
RSV			1													5	6
アデノ		5	8			5										9	27
アデノ1						2											2
アデノ2			1														1
アデノ3		3				1			1								5
エンテロ		5	9			1	10		1	1		4				8	39
エコー 13							4										4
コクサッキー A6																	
ポリオ 1																	
ポリオ 2																	
ムンプス													2				2
SRSV = NLV						29											29
ロタ						2											2
単純ヘルペス			1							1						1	3
水痘 帯状疱疹							1					1					2
パルボ B 19																	
カンピロバクター						1											1
サルモネラ																	
下痢原性大腸菌																	

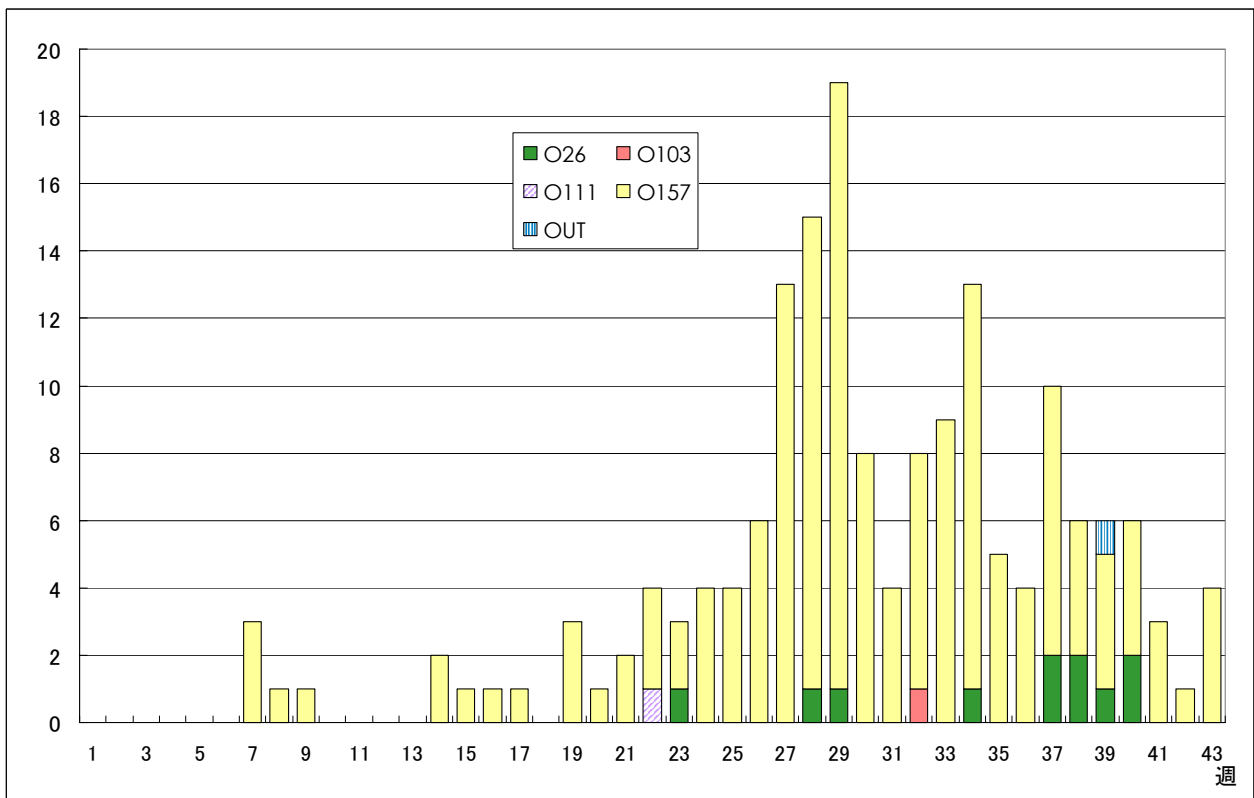
病原体検出情報（腸管出血性大腸菌感染症）

腸管出血性大腸菌感染症患者から検出された細菌（全国）



病原微生物検出情報（2002年9月26日現在報告数）

腸管出血性大腸菌感染症患者から検出された細菌（東京都）



感染症発生動向調査（東京都）

年齢階級別累計表(2002年 43週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	M C L S
～6ヶ月		2		5	1			9								1	
～1歳		1		15	6	3		40			1					3	2
1歳		1		44	13	19		25			2		1			3	
2歳		1	5	53	15	10	1	1			1		11				
3歳			9	40	7	10	2				3		8				
4歳		1	8	36	15	5	1				3		9				
5歳		3	9	25	3	1	3				2		10			2	
6歳			8	20	5		1	1			1		2		1		
7歳			7	16	1	1							3			1	
8歳			2	17	4		1				1	1	1			1	
9歳				10			1						1				
10～14歳			3	23	1								5				
15～19歳	1		2	7	1	1					1		1				
20～29歳			2	66	1						4		4		3		
30～39歳															1		
40～49歳															1		
50～59歳															1		
60～69歳															1		
70～79歳																	
80歳以上																	
合計	1	9	55	377	73	50	10	76	0	0	19	1	56	0	8	11	2
先週比	1	-5	-9	55	2	9	-6	1	0	0	10	-4	-10	0	-1	11	2

注：小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。

眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

保健所別累計表 (2002年 43週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
千代田					1	5							1			1		8
中央区				6	3	2	1	3					3				1	19
みなと		3	6	8				1										18
新宿区			1	26		4		3				1			2	1		38
文京				15	2								1		2			20
台東			3	11	4			2			1							21
墨田区				2		2	1	2					2					9
江東区		1	2	10	4	1		2			3		1		2			26
品川区			2	19	6	2		6					3			4	1	43
目黒区			1		1													2
大田区			3	37	4	1	4	5					3		1	1		59
世田谷区		1	1	18	2	1	1	4			1		7					36
渋谷区		3	1	23	4			1					2					34
中野区				11	1			3								1		16
杉並			3	6	1	3	1	3			2		1					20
池袋								1			1				1			3
長崎				2				2										4
北区			4	12				4					1					21
荒川区			1	2									1					4
板橋区				4	6			2			1		1					14
練馬区			2	5	9	2	1						3					22
足立			4	12	2						1							19
葛飾		1		7	1	3		11			2		9			1		35
江戸川			10	36	1	5		4			1		1					58

保健所別累計表 (2002年 43週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
多摩川				1				2					1					4
秋川				11	2			1					2			1		17
八王子					3		1	1					3					8
南多摩				13	3	1		1			6		1					25
町田			3	13		8		1					4			1		30
多摩立川			1	7	2								1					11
村山大和				6		1							1					8
府中小金井																		
狛江調布			1	6	2	1		2										12
三鷹武蔵野			3	18	2			3					1					27
多摩小平	1		1	21	3			3					1					30
多摩東村山			2	9	4			3					1					19
島しょ						8												8

東京都合計	1	9	55	377	73	50	10	76	-	-	19	1	56	-	8	11	2	748
定点当り報告数	0.01	0.06	0.39	2.65	0.51	0.35	0.07	0.54	-	-	0.13	0.01	0.39	-	0.57	0.08	0.01	

保健所別累計表 (定点当り) 2002年 43週

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS
千代田					0.25	1.25							0.25			0.25	
中央区				2.00	1.00	0.67	0.33	1.00					1.00				0.33
みなと		0.50	1.00	1.33				0.17									
新宿区			0.17	4.33		0.67		0.50				0.17			1.00	0.17	
文京				5.00	0.67								0.33		2.00		
台東			1.00	3.67	1.33			0.67			0.33						
墨田区				0.67		0.67	0.33	0.67					0.67				
江東区		0.33	0.67	3.33	1.33	0.33		0.67			1.00		0.33		2.00		
品川区			0.33	3.17	1.00	0.33		1.00					0.50			0.67	0.17
目黒区			0.33		0.33												
大田区			0.33	4.11	0.44	0.11	0.44	0.56					0.33		1.00	0.11	
世田谷区		0.13	0.13	2.25	0.25	0.13	0.13	0.50			0.13		0.88				
渋谷区		0.75	0.25	5.75	1.00			0.25					0.50				
中野区				1.83	0.17			0.50									0.17
杉並			0.50	1.00	0.17	0.50	0.17	0.50			0.33		0.17				
池袋								0.25			0.25				1.00		
長崎				2.00				2.00									
北区			1.00	3.00				1.00					0.25				
荒川区			0.50	1.00									0.50				
板橋区				0.67	1.00			0.33			0.17		0.17				
練馬区			0.40	1.00	1.80	0.40	0.20						0.60				
足立			1.00	3.00	0.50						0.25						
葛飾		0.25		1.75	0.25	0.75		2.75			0.50		2.25			0.25	
江戸川			2.50	9.00	0.25	1.25		1.00			0.25		0.25				

保健所別累計表 (定点当り) 2002年 43週

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS
多摩川				0.33				0.67					0.33				
秋川				5.50	1.00			0.50					1.00			0.50	
八王子					1.50		0.50	0.50					1.50				
南多摩				4.33	1.00	0.33		0.33			2.00		0.33				
町田			1.50	6.50		4.00		0.50					2.00			0.50	
多摩立川			0.25	1.75	0.50								0.25				
村山大和				3.00		0.50							0.50				
府中小金井																	
狛江調布			0.33	2.00	0.67	0.33		0.67									
三鷹武蔵野			0.75	4.50	0.50			0.75					0.25				
多摩小平	0.25		0.33	7.00	1.00			1.00					0.33				
多摩東村山			0.67	3.00	1.33			1.00					0.33				
島しょ						8.00											

東京都合計	1	9	55	377	73	50	10	76	-	-	19	1	56	-	8	11	2
定点当り報告数	0.01	0.06	0.39	2.65	0.51	0.35	0.07	0.54	-	-	0.13	0.01	0.39	-	0.57	0.08	0.01

< 感染症豆知識 >

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

東京都医師会感染症予防検討委員会

Streptococcus pyogenes 感染によって起こる「A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎」は感染症発生動向調査において、全国約 3000 の小児科定点から、毎週患者発生数が報告される 4 類感染症で、発熱、咽頭痛、咽頭発赤及び頸部リンパ節炎、莓舌が特徴で発疹を伴うこともある。1 定点医療機関当たり患者報告数は、1996 年は 30.7、1997 年 34.9、1998 年 34.1、1999 年 39.9、2000 年 53.1、2001 年 51.9（155,965 例：暫定数）と 2000 年以降増加しており、2002 年も第 4～6 週、8～11 週、20～23 週に、1 定点医療機関当たり患者報告数が 1.4 を超えている

（<http://idsc.nih.go.jp/kanja/weeklygraph/streptoA.html> 参照）。患者の年齢は 5 歳をピークにその前後が多い。毎年夏季には減少するが、11～12 月に再増加する。

S. pyogenes は溶血毒素、発熱毒素（発赤毒素）、核酸分解酵素、streptokinase などを産生する。また、菌体表面抗原である M 蛋白と T 蛋白の抗原性により型別が行われる。地方衛生研究所と保健所で実施された T 血清型別成績によれば

（<http://idsc.nih.go.jp/prompt/s2graph-lj.html> 参照）、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎を引き起こす主な血清型は T12、T1、T4 型で、この 3 つの型で各年の分離数の 50% 以上を占めている。一方、T3、T6、T25 型は年次変動が大きく、T3 型は 1985～1986 年と 1993～1994 年、T6 型は 1988～1989 年と 1997 年、T25 型は 1999 年に増加が見られた。

（文責：山下和予）